

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

地理歴史科

教科： 地理歴史科

科目： 歴史総合

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書： （ 第一学習社 高等学校 歴史総合 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】

社会的事象に関する基本的な知識、概念や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

資料や、統計・地図などの諸資料を活用し、必要な情報を得て判断し、それらを表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

世界や日本の歴史的事象、現代社会の諸事象について考察し、人間としての生き方について探究しようとする

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史について、世界とその中の日本を広い視野から捉え、その意味や意義、特色を学習する。その過程で、現代とのつながりに着目し、どのように諸課題が形成されたかを理解する。	近現代の歴史について、諸地域を比較することで、相互の関連を多角的に考察し判断する。そのために、諸資料を読むことができる力をつける。また考察したことについて、表現する文章力やプレゼンテーション力を養う。	よりよい国際社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うよう、授業で積極的な発言をおこなう。我が国の文化・歴史に対する敬意、他国や他国の文化・歴史を尊重する態度を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	16-18世紀の国際社会を学習し、アジア・アフリカ・中南米地域とヨーロッパ諸国の邂逅を理解する。 【知識・技能】 ヨーロッパ諸国の海外進出を、日本の鎖国体制と対比しながら学習する。産業革命により、市民階級により資本主義社会が成熟していく過程および革命について学習する。 【思考・判断・表現】 年表・資料を活用し、ヨーロッパ諸国の国際商業覇権争いが日本を含む諸地域に与えた影響を考察・表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 人権問題を、現代につづく課題としてとらえ、積極的に知ろうとする。	・日本の鎖国体制 ・国際商業の覇権争い ・産業革命 ・市民革命（アメリカ独立戦争、フランス革命）	【知識・技能】 東インド会社によるアジア進出、産業革命による工業化、市民革命についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 国際商業の覇権の推移を比較し、考察・表現できている。基本的人権について、独立宣言やフランス人権宣言から読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 少数民族への差別やアメリカで続いた黒人差別を、現代につづく課題としてとらえ、積極的に知ろうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	19世紀の国際社会を学習し、国家の統一と近代化について理解する。 【知識・技能】 バクス=ブリタニカをもたらした近代世界システム、ロシアの近代化、イタリアとドイツの統一、アメリカの膨張について学習する。清と日本の開国について学習する。 【思考・判断・表現】 地図・図版を活用し、ヨーロッパ諸国の諸地域への進出について、考察・表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の成り立ちなど、現代につづく課題について関心をもち、積極的に知ろうとする	・イギリスの繁栄 ・イタリア、ドイツ、ロシアの近代化 ・アメリカの膨張（南北戦争） ・東アジアの動揺（アヘン戦争）	【知識及び技能】 イギリスを中心とする近代世界システム、後発国であるイタリア・ドイツの統一を通し、国民国家とはどのようなものかについての知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米の国民国家形成について、国際情勢を交えて多面的に考察・表現できている。地図・図版を活用し、アジアの動揺・衰退を考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】 上からの近代化がおこなわれたイタリア・ドイツ・日本を比較し、その利点と問題点について検討しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	19世紀の国際社会を学習し、列強による帝国主義と諸地域の植民地化について理解する。 【知識及び技能】 欧米列強による諸地域の植民地化について学ぶ。また、近代化を成功させた日本の立憲体制や海外進出について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 図版・資料を活用し、帝国主義の展開について考察し、導き出した考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 植民地化が展開される中で、世界がどのように異文化と向き合っていたかを積極的に知ろうとしている。	・インド、東南アジアの植民地化 ・アフリカ分割 ・明治の日本の外交、立憲国家への道のり ・日清戦争 ・日露戦争 ・朝鮮半島への進出	【知識及び技能】 インドの植民地化が宗教を背景としたものであったことを学習できている。近代化に成功した日本が海外に進出する過程を、国際情勢を踏まえて学習し、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化の遅れた地域と成功した日本を比較し、政治・経済・思想が果たした役割を考察し、導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 異文化と向き合う姿勢を、欧米列強また日本の帝国主義政策と関連づけて学び、問題点について積極的に知ろうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第一次大戦、第二次大戦について理解する。 【知識及び技能】 史上初の総力戦である第一次大戦勃発に至るまでの国際情勢、戦間期の出来事、第二次大戦の惨禍について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料を活用し、戦勝国と敗戦国を対比し、経済が国際間の秩序・平和に及ぼす影響を考察し、導き出した考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際平和の構築を探索し、自分の課題として実現しようとしている。また労働問題や大衆文化のあり方について関心をもち、現代につづく課題としてとらえている。	・第一次世界大戦 ・大衆社会、大正デモクラシー ・ロシア革命と社会主義国の誕生 ・アジアの民族運動 ・ファシズムの台頭 ・第二次世界大戦	【知識及び技能】 第一次大戦、第二次大戦勃発の過程とその惨禍について、核の使用を含め、理解し、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 全体主義をうみだした国際社会の対立および経済の不均衡について、多角的に考察し、導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会において平和を構築するため、なにが必要か、どのように関わるができるのかを、自分の課題として知ろうとしている。また、資本主義社会における労働問題、大衆社会における人間のあり方・生き方を現代につづく問題としてとらえている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	20世紀の冷戦構造について、核開発競争の歴史とともに理解する。 【知識及び技能】 戦後の国際秩序の形成と機関について、また冷戦の開始・激化・終結について理解し、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図・図版を活用し、世界の分断と対立を調停する国際連合の組織・役割について考察し、導き出した考えを表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会で日本が果たす役割について探り、主権者としての国民の選択、民主主義のあり方について、意欲的に探究しようとする。	・冷戦の構造 過程と終結 ・朝鮮戦争、ベトナム戦争 ・戦後の日本の政策の転換、高度経済成長 ・第三世界の台頭	【知識及び技能】 米ソを中心とした冷戦構造と、2つの陣営に分かれての諸地域の対立を理解し、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の対立構造の中で、緊張と緩和が繰り返されたこと、また国際連合が対立の緩和に果たした役割と課題を考察し、導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本が、戦後どのように復興していったのか、また被爆国として核軍縮に果たすべき役割について、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	20-21世紀の諸紛争について、資源ナショナリズムについて触れながら理解する。自然と人間の歴史について考察する。 【知識及び技能】 中東紛争など、諸地域の独立とその後の紛争について理解し、知識をつけている。 【思考力、判断力、表現力等】 新興国の台頭がどのような問題を生じやすいか、多面的に考察し、導き出した考えを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化の進展について、その利点・欠点を理解し、積極的に知ろうとしている。自然と人間の関わりについて、意欲的に探究しようとしている。	・中東紛争と石油 ・現代の諸紛争 ・自然と人間（東日本大震災）	【知識及び技能】 冷戦との諸地域の紛争について、知識を身につけている。自然と人間の関わりについて、日本の災害の歴史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結によって米ソ2大国の影響力が薄らぐ中、新興国が台頭するも、経済面・政治面で問題を抱えていることについて考察し、導き出した考えを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 自国中心的な政策と国際協調を優先させた政策について、利点と欠点を念頭に、現代社会の問題を意欲的に探究しようとしている。自然との関わりを考察し、どのように自然と関わり環境を護っていくかについて自分の問題としてとらえている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70